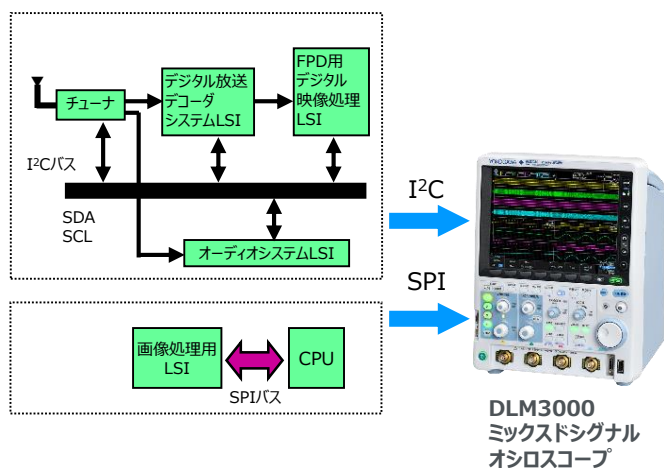


ミックスドシグナルオシロスコープ DLM3000

デジタル家電におけるI²C/SPIシリアルバスの評価



薄型TVのオーディオ、マイコン制御周辺の
バス信号の観測例

概要

デジタルカメラのLCDモニタ表示やフラッシュメモリーカードへの書き込みなど、I²CバスやSPIバスで制御ロジックを評価する必要があります。

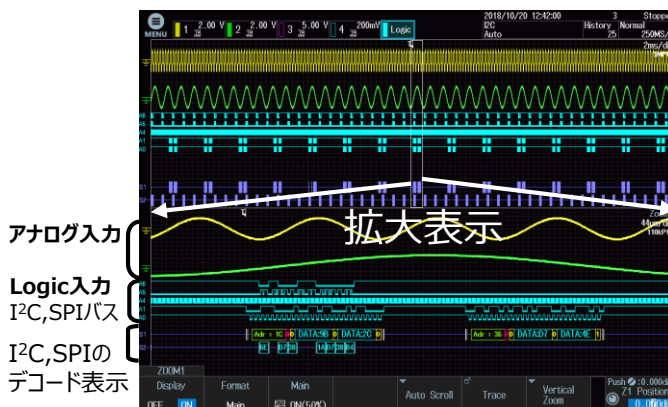
DLM3000は最大250Mポイントのロングメモリーに取り込まれた波形から、最大300,000バイトのI²C / SPIバスの解析が可能です。

ポイント

- 異なる種類、異なる通信速度のシリアルバスを4種類まで同時解析
- 250Mポイントのロングメモリー
- シリアルバスのオートセットアップ機能
- シリアルデータのSOF、ID、データ、エラーなどでトリガ可能

特長

- アナログ・ロジック混在入力により、最大11入力の信号観測
 - アナログ4ch⇔アナログ3ch&ロジック8bit の切替え入力チャネル（ハイブリッドチャネル）を登録
- 250Mポイントのロングメモリー
 - 高速サンプル&長時間測定が可能
- UART (RS232) / I2C/SPI/CAN/CAN-FD/LIN/FlexRay/SENT/CXPIの各種シリアルバスに対応
 - 4種類のバスを同時に解析
 - ロジック入力でトリガ、解析が可能
- HDTV、NTSC TVトリガ標準装備
 - TVトリガ（NTSC/PAL、SDTV/HDTV）に標準対応



ロジック入力によるI²C、SPIの2バス同時解析